

月 -

復命書

2009年5月25日

新政会 代表
望月 厚司 様

議員名 佐藤成子

下記のとおり、政務調査費による視察を実施したので、ご報告します。

1 日 時	2009年5月22日 am 10:00 から pm 4:30	
2 視 察 先	(1) 都 市 名 視 察 先 施 設 等	ユニバーサルデザインの色彩計画 主催 財団法人 日本色彩研究所 会場 品川区立総合区民会館きゅりあん
	(2) 対 応 者	金子隆芳 筑波大学名誉教授 赤木重文 色研 研究第1部長 名取和幸 色研 研究第1次長 大内啓子 色研 研究第1部 主任研究員
3 目 的	ユニバーサル計画が進められている本市。中でもカラーユニバーサルについて情報収集、先進例、取り入れ方など研讃する。景観計画との関係も考えてみたい。	
4 内 容	(調査事項・調査結果を具体的に) 「色覚のメカニズムと色覚異常」 筑波大学名誉教授 金子隆芳 氏 他人の色覚はわからない = 色の混同関係を知ることによって他人の色覚について理解できる。 色度図と混同色線 = 異常者には線上の色はみな同じに見える。明るさと濃さだけが認識できる。異なる線上は種別の違いがわかる。 印刷インクの場合 = 円環図で表現 一般的に刺激エネルギーが弱くなれば、誰でも見えにくくなる。概して暗い色は異常者は苦手。小さい薄いも同じ。 「高齢者の視覚特性とカラープランニング」 色研 研究第1部次長 名取和幸 氏	

加齢による視覚特性の変化 = 視力低下と視野障害 暗い所
より見えにくくなる グレア(まぶしさ)を感じやすくなる 色
の区別ができにくくなる・色づかいにより対象を見つけにくくな
る 老眼や白内障 暗順応が遅い オレンジ色のフィルターを
通して見ているみたいに見える。

(光)照明との関係も大事。青い色表示、黒との背景では全く見
えない。ガスコンロの火の色も見えにくくなる。

「ユニバーサルデザインに関する規格とチェックポイント」

色研 研究第1部 主任研究員 大内啓子 氏

アクセシブルデザイン = 何らかの機能に制限を持つ人達に焦
点を合わせ、これまでの設計をそのような人たちのニーズに合わ
せて拡張することにより、製品、建物およびサービスをそのまま
受けることができる潜在顧客数を最大限まで増やそうとする設
計。

ユニバーサルデザイン = アクセシブルを包含する概念で、すべ
ての人が可能な限り最大限まで、特別な改造や特殊な設計をせず
に利用できるように配慮された製品や環境の設計

JIS Z 8071・ISOガイド71などの内容の吟味。

高齢者は基本色と類似している色の範囲が狭い。赤緑青の識別
に時間がかかる。

「色彩設計の考え方と事例」

色研 研究第1部長 赤木重文 氏

色彩の機能 = 検出性・識別性、固定制・情緒性

明度差と視認性と可読性 = 識別性の高い配色・白黒情報にして
確認

ガイドライ作成のチェックポイント

チェック対象の整理

不自由さの具体的事例と色彩機能の整理

色彩機能別改善案の方針作成

改善案の方針に沿った具体的案の作成、事例収集

具体案のチェック

5

成果・市政
への反映等

チェック方式の例に倣って、色名によるチェック・グレイ変換によるチャック・混同線によるチェック・シュミレーションソフトによるチェック・当事者によるチェックなど、具体的にユニバーサルデザイン計画のなかでどのように取り上げられているか、特に色にこだわって検証したい。